2026年８月期　決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年10月13日

上 場 会 社 名	株式会社セールスアカデミー		上場取引所　福
コ ー ド 番 号	482A	URL　http://www.sales-ac.jp/	
代　　表　　者	(役職名)代表取締役	(氏名)宮脇伸二	
問合せ先責任者	(役職名)執行役員管理部部長	(氏名)高野浩次	(TEL)092(771)7185
定時株主総会開催予定日	2026年11月24日	配当支払開始予定日	―
発行者情報提出予定日	2026年11月24日		

決算補足説明資料作成の有無　　：　無
決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．　2026年８月期の業績（　2025年９月１日～　2026年８月31日）

（１）経営成績　　(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年８月期	186	18.2	23	100.6	23	109.2	18	332.0
2025年８月期	157	4.4	11	6.6	11	4.7	4	△89.0

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年８月期	45.55	―	68.7	22.2	12.8
2025年８月期	10.54	―	27.5	10.6	7.5

(参考)　持分法投資損益　　2026年８月期　―百万円　　2025年８月期　―百万円

(注)1.潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。
2.当社は、2025年9月18日付けで普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、2025年８月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年８月期	103	35	34.3	89.09
2025年８月期	105	17	16.5	43.54

(参考)　自己資本　　2026年８月期　35百万円　　2025年８月期　17百万円

(注)当社は、2025年9月18日付けで普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、2025年８月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

（３）キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年８月期	13	△0	△10	73
2025年８月期	27	△2	△10	70

２．配当の状況

	年間配当金			配当金総額(合計)	配当性向	純資産配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年８月期	0.00	0.00	0.00	0.00	―	―
2026年８月期	0.00	0.00	0.00	0.00	―	―
2027年８月期(予想)	0.00	0.00	0.00		―	

３．2027年８月期の業績予想（　2026年９月１日～　2027年８月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	220	17.8	42	78.2	42	80.8	27	50.4	68.52

※　注記事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（２）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年８月期	399,500 株	2025年８月期	399,500 株
②　期末自己株式数	2026年８月期	― 株	2025年８月期	― 株
③　期中平均株式数	2026年８月期	399,500 株	2025年８月期	399,500 株

（注）当社は、2025年9月18日付で普通株式１株につき500株の株式分割を行いましたが、2025年８月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）及び期中平均株式数を算定しております。

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）３ページの「1. 経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 ……2
（１）当期の経営成績の概況 ……2
（２）当期の財政状態の概況 ……2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 ……2
（４）今後の見通し ……3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 ……3
３．財務諸表及び主な注記 ……4
（１）貸借対照表 ……4
（２）損益計算書 ……6
（３）株主資本等変動計算書 ……7
（４）キャッシュ・フロー計算書 ……8
（５）財務諸表に関する注記事項 ……9
（継続企業の前提に関する注記） ……9
（持分法損益等） ……9
（セグメント情報等） ……9
（１株当たり情報） ……9
（重要な後発事象） ……9

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当事業年度のわが国経済は、実質GDP成長率が1.0％程度と予測され、緩やかな拡大基調を維持しています。前年に続き賃上げの流れが広がり、個人消費の下支え要因となりました。加えて、円安基調の継続により輸出企業の収益は底堅く推移し、国内景気も持ち直しの動きがみられます。一方で、地政学リスクの高まりや主要国間の金融政策の違いによる為替変動など、先行きには依然として不透明感が残っております。

このような経済環境下、当社を取り巻く研修市場は、矢野経済研究所によると2025年度に前年度比3.7％増の6,075億円となり、当事業年度である2026年度には同水準（同3.7％増）の6,300億円規模に拡大すると見込まれております。特に人的資本経営を重視する企業が増加しており、新入社員研修に加えて、次世代リーダー層や管理職層を対象とした研修需要が引き続き伸長しています。

当社は、この業界成長を背景に、安定した業績を確保することができました。具体的には、「甘やかさない」をコンセプトにした新入社員向け研修が時代のニーズと合致し、当事業年度の売上を押し上げる結果となりました。また、研修専門会社として培ったノウハウを活かした入社2年目3年目の社員向け研修、さらに経営層に近づくための管理職研修も顧客から高い評価を得ております。これらの取り組みの結果、新規顧客の獲得並びに既存顧客からのリピート受注につながりました。

当事業年度の経営成績は、売上高186,753千円（前期比18.2％増）、営業利益23,852千円（前期比100.6％増）、経常利益23,256千円（前期比109.2％増）、当期純利益は18,197千円（前期比332.0％増）となりました。

今後も、企業の人材育成投資の拡大を確実に捉え、質の高い研修サービスを提供することで、持続的な成長を実現してまいります。

当社は、研修事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の概況の記載を省略しております。

（２）当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当事業年度の財政状態につきましては、次のとおりです。

（資産の部）

当事業年度末の資産合計は、前事業年度末に比べ1,775千円減少し、103,808千円となりました。

これは主に繰延税金資産が4,670千円減少したこと等によります。

（負債の部）

当事業年度末の負債合計は、前事業年度末に比べ19,973千円減少し、68,216千円となりました。

これは主に長期借入金が10,134千円減少したこと等によります。

（純資産の部）

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べ18,197千円増加し、35,592千円となりました。

これは主に利益剰余金が18,197千円増加したこと等によります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は73,816千円（前事業年度末は70,657千円）となり、前事業年度末に比べ3,158千円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は13,988千円（前事業年度末は27,554千円の獲得）となりました。これは主に税引前当期純利益23,256千円、契約負債の減少4,508千円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は626千円（前事業年度末は2,807千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得額616千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は10,204千円（前事業年度末は10,719千円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出10,204千円によるものです。

（４）今後の見通し

当社は、「新入社員研修で日本一頼りにされる会社になる！」という経営ビジョンの実現に向け、研修事業に取り組んでまいります。2027年８月期においては、当社の強みである高いリピート率をさらに高めるため、既存顧客ファーストを営業活動の基本方針としております。研修の実施にとどまらず、実施前の課題確認から実施後の振り返りまで顧客と継続的に連携し、研修の成果や新たに生じた課題を次の提案に反映してまいります。顧客ごとの状況や要望を踏まえた提案を重ねることで、研修の継続利用に加え、必要に応じて関連する研修の提案にもつなげ、顧客との取引関係の深化を目指します。

サービスの提供にあたっては、顧客や受講者の声を収集し、内容や進め方を継続的に見直すことで、より実践的で満足度の高い研修へのブラッシュアップを進めます。研修後の評価やフィードバックを社内で共有し、改善点を次回の企画・運営に反映するサイクルを定着させます。さらに、パートナー講師の育成を通じて、指導力の向上や当社教育方針の共有を図り、講師による品質のばらつきを抑え、安定した研修運営を実現いたします。また、ＡＩを活用したロールプレイングツールの開発を進め、研修の進め方も時代に合わせ変化してまいります。

以上を踏まえ、2027年８月期の業績見通しは、売上高220,000千円、営業利益42,501千円、経常利益42,050千円、当期純利益27,375千円を見込んでおります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性は乏しいため、会計基準におきましては日本基準を適用しております。

３．財務諸表及び主な注記

（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年８月31日）	当事業年度 （2026年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,657	73,816
売掛金	2,571	2,090
前払費用	4,343	5,217
その他	32	364
流動資産合計	77,605	81,488
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,654	1,654
減価償却累計額	△532	△769
建物（純額）	1,121	885
工具、器具及び備品	501	616
減価償却累計額	△501	△115
工具、器具及び備品（純額）	0	500
有形固定資産合計	1,121	1,385
無形固定資産		
ソフトウエア	2,710	1,730
無形固定資産合計	2,710	1,730
投資その他の資産		
長期前払費用	229	177
繰延税金資産	22,744	18,073
その他	1,172	952
投資その他の資産合計	24,146	19,203
固定資産合計	27,978	22,319
資産合計	105,584	103,808

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年８月31日）	当事業年度 （2026年８月31日）
負債の部		
流動負債		
未払金	3,353	2,996
未払費用	5,468	4,616
契約負債	13,089	8,580
1年内返済予定の長期借入金	10,204	10,134
賞与引当金	980	1,420
未払法人税等	388	388
未払消費税等	7,176	3,283
その他	2,118	1,518
流動負債合計	42,778	32,938
固定負債		
長期借入金	45,411	35,277
固定負債合計	45,411	35,277
負債合計	88,189	68,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	39,850	39,850
資本剰余金		
資本準備金	29,850	29,850
資本剰余金合計	29,850	29,850
利益剰余金		
利益準備金	6	6
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△52,311	△34,113
利益剰余金合計	△52,305	△34,107
株主資本合計	17,394	35,592
純資産合計	17,394	35,592
負債純資産合計	105,584	103,808

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　2024年　９月　１日 至　2025年　８月　31日）	当事業年度 （自　2025年　９月　１日 至　2026年　８月　31日）
売上高	157,941	186,753
売上原価	46,022	53,681
売上総利益	111,918	133,072
販売費及び一般管理費	100,029	109,220
営業利益	11,889	23,852
営業外収益		
受取利息及び配当金	86	171
その他	41	0
営業外収益合計	127	172
営業外費用		
支払利息	842	709
その他	58	58
営業外費用合計	900	767
経常利益	11,115	23,256
税引前当期純利益	11,115	23,256
法人税、住民税及び事業税	388	388
法人税等調整額	6,515	4,670
法人税等合計	6,903	5,059
当期純利益	4,211	18,197

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度(自2024年９月１日　至2025年８月31日)

（単位：千円）

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	39,850	29,850	29,850
当期変動額			
当期純利益			
当期変動額合計	―	―	―
当期末残高	39,850	29,850	29,850

	株主資本				純資産合計
	利益剰余金			株主資本合計	
	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
当期首残高	6	△56,523	△56,517	13,182	13,182
当期変動額					
当期純利益		4,211	4,211	4,211	4,211
当期変動額合計	―	4,211	4,211	4,211	4,211
当期末残高	6	△52,311	△52,305	17,394	17,394

当事業年度(自2025年９月１日　至2026年８月31日)

（単位：千円）

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	39,850	29,850	29,850
当期変動額			
当期純利益			
当期変動額合計	―	―	―
当期末残高	39,850	29,850	29,850

	株主資本				純資産合計
	利益剰余金			株主資本合計	
	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
当期首残高	6	△52,311	△52,305	17,394	17,394
当期変動額					
当期純利益		18,197	18,197	18,197	18,197
当期変動額合計	―	18,197	18,197	18,197	18,197
当期末残高	6	△34,113	△34,107	35,592	35,592

（４）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自2024年９月１日 至2025年８月31日）	当事業年度 （自2025年９月１日 至2026年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	11,115	23,256
減価償却費	1,592	1,331
賞与引当金の増減額（△は減少）	40	440
受取利息及び受取配当金	△86	△171
支払利息	842	709
売上債権の増減額（△は増加）	337	481
前払費用の増減額（△は増加）	△1,910	△874
未収消費税等の増減額（△は増加）	7,866	―
長期前払費用の増減額（△は増加）	64	52
未払金の増減（△は減少）	△652	△356
未払費用の増減（△は減少）	△160	△851
契約負債の増減額(△は減少)	2,340	△4,508
未払消費税等の増減額（△は減少）	7,176	△3,892
その他	132	△701
小計	28,698	14,914
利息及び配当金の受取額	86	171
利息の支払額	△842	△709
法人税等の支払額	△388	△388
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,554	13,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	―	△616
無形固定資産の取得による支出	△2,807	―
その他	―	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,807	△626
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△10,719	△10,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,719	△10,204
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,028	3,158
現金及び現金同等物の期首残高	56,629	70,657
現金及び現金同等物の期末残高	70,657	73,816

（５）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

（セグメント情報）

当社事業は、研修事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（１株当たり情報）

	前事業年度 （自　2024年　９月　１日 至　2025年　８月　31日）	当事業年度 （自　2025年　９月　１日 至　2026年　８月　31日）
１株当たり純資産額	43.54円	89.09円
１株当たり当期純利益金額	10.54円	45.55円

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

２．当社は、2025年９月18日付けで普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり純資産額及び１株当たり当期純利益を算定しております。

３．１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 （自　2024年　９月　１日 至　2025年　８月　31日）	当事業年度 （自　2025年　９月　１日 至　2026年　８月　31日）
１株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	4,211	18,197
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る当期純利益(千円)	4,211	18,197
普通株式の期中平均株式数(株)	399,500	399,500

４．１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2025年　８月　31日)	当事業年度 (2026年　８月　31日)
純資産の部の合計額(千円)	17,394	35,592
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	―	―
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	17,394	35,592
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	399,500	399,500

（重要な後発事象）

該当事項はありません。